

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2015年
4月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

神を畏れ、 人を恐れず、人に仕えよ

司祭 バジル 八代 智

日本のクリスチャン人口は総人口のたった1%に過ぎない

と、昔からよく言われています。けれどもキリスト教系の幼稚園



はなるでしょうか。そのように考えると、キリスト教系の教育現場が、この日本社会に与えてきた影響は計り知れません。

いずれのキリスト教学校もそれぞれ設立の目的があり、それを具体的に示す「建学の精神」があります。そのほとんどは「キリスト教の精神に基づき：教育することを目的とする」と謳っています

が、現在わたしが勤務する八代学院(神戸国際大学)の場合は「聖公会キリスト教の精神に基づき：」と、「聖公会」が付け加えられています。この聖公会とはHoly Catholic Churchと文字通り捉えることもできますが、真意は八代斌助主教本人に聞かないと分かりません。ただ斌助主教はこの設立

の目的を具体化して、「神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ」と建学の精神を定めました。

推測の域を免れませんが、「人を愛せよ」ではなく「人に仕えよ」とのメッセージは、誰かを愛する心の思いは、実際にその人のために動かなくては形となつて現れないんだ、との強い思いがあつたのではないのでしょうか。

聖公会はEnglish Churchとも呼ばれる通り、「国民教会」でもあります。このことは王侯貴族だけでなく、すべての国民が同じ信仰によつてたつ教会といえます。

それだけに英国本土の実に300倍もの植民地を有した負の歴史があることも否めませんが、同時にその全生涯を賭して、異国の地で貧しい人々や虐げられた人々に仕える尊い働きを残して死んでいった宣教師が多かつたのも、また聖公会なのです。熊本のハンセン病患者のためにその生涯を捧げたりデル、ラ

イト両宣教師の例を挙げるまでもなく、ここ日本でも数多くの聖公会宣教師たちが、社会的弱者救済活動を全国的に展開しました。

「草津の母」と呼ばれたコンウォール・リー宣教師も、その生涯に渡つてハンセン病の人々に仕え、人生の最後をわたしたちの属する神戸教区の明石聖マリア・マグダレン教会で迎えました。教会の入口には彼女の記念碑が建てられています。

斌助主教も英国留学時代に、牧師とロンドンのスラム街を訪ねたことがあるようですが、その衝撃的な経験は、後の八代斌助の信仰と思想に大きな影響を与えたと言われています。

これと似た話が、先日初来日したウイリアム王子の母君、故ダイアナ妃のエピソードにもあります。ウイリアム、ヘンリー両王子がまだ幼かつた頃、ダイアナ妃はお忍びで両王子を宮殿から連れ出し、同じロンドン市内のスラム街に子供たちを連れて行きました。英国にはこうした悲しい現実もあるということ

を、彼らに教えたかつたのでしよう。彼女の心優しい感性が、王子たちに受け継がれたことは、2011年のウイリアム王子とケイト妃の聖婚式で、ご自身が選

んだとされる聖歌(日本聖公会聖歌集341番)に明らかです。「愛の聖霊よ われら用いて 苦しむ人への 望みを与え 傷ついた者を 癒し慰め 尽きぬ喜びを もたらせたまえ」

このような聖公会の歴史と伝統ゆえ、斌助主教は「生徒・学生に仕える」教育の場として八代学院を設立したのだと思います。

競争原理と個人主義が蔓延し、ますます混迷を深める現代社会において、心の傷ついた青少年は増加する一方です。そんな中、八代学院が責任ある教育を生徒・学生に提供することは、学院の勤めとして当然ですが、それと同等、あるいはそれ以上に、何らかの理由によつて傷つき、閉ざされた子供たちの心の扉を開いてゆくキリストの愛の教えは、すべての本学院教職員に求められている天与の使命といえるでしょう。

これからも教区・伝道区・各教会との連携を深めつつ、一人ひとりの命を大切に育み、そしてキリストの愛を常に発信し続ける学院として存続できるように、皆様のご加禱を切に望みます。

(神戸国際大学チャプレン)

聖オーガスチン教会 建築奮闘記(最終回)

パウロ 性全 正展

古い礼拝堂と大きな銀杏が前面に、新しい建物との落ち着いた景観で、ここが教会であることを名乗り出た。立ち止まって見てゆく人や、「礼拝堂を見せてー!」「中に入ってもよいか」と言う人や女子高生、今迄にない事だ、宣教の第一歩が約束された感じがする。

建築計画は、当初は資金がネックとなり、極く小さな計画だった。主教様から「祈りをもってすれば必ず出来る!」と励まされ、祈りと勇気を持って再度計画に取り組み、2014年7月起工式、翌年1月完成を目標に工事が開始された。四年前、建て替えを決意し、永年の夢を宣教のビジョンの第一に掲げ、夢を実現の計画になった。

2015年2月7日、中村主教様の司式で大勢の方々のご出席と祝福をいただき、落成式を迎えることが出来ました。皆様方の祈りの中であって、主教様

や教区の数々のご配慮、伝道区一丸になってのご協力、教区内外の皆様の多額の献金、援助金、計り知れないご支援によって希望通り完成しました。心から感謝し、お礼申し上げます。皆様方の、お祈りとご支援によって、やっと出来た会館・牧師館です。計画の全てをお導き下さり、見守って下さり、与えて下さった主のみ名を賛美し、み恵みに感謝いたします。また完成に運んで下さった工事関係の方々に感謝いたします。最後にお願ひになります。この会館を起点として、私達が宣教活動を進めてゆく事が出来ますよう、ご加禱とご支援を賜りますことをお願いいたします。



そして、神戸教区の皆様、これから会議や行事などの際にはどうぞこの会館をご利用下さい。教区を中心に位置し、交通の便にも優れた岡山の教会に、是非、足をお運びください。お願いいたします。



* * *

マリア 萩岡 明子

主のお守りとお導きのうちに、皆様のお祈りとお力添えによりまして、2月7日に落成式を迎えることが出来ました。1年で最も寒い2月に式を行うことになり、寒い中お越し頂くのはご無理ではないかと心配しておりましたが、なんと予想の倍以上の130名もの

方々が遠路お越しください、和やかで盛大な落成式となりましたこと、感謝の念にたえません。建築は諸事情により当初の設計が大幅に縮小を余儀なくされて狭くなり、そのためどのように皆様をお迎えるかについて意見が飛び交いましたが、直前に主教様の一言「礼拝は外でしましよ」で決定。でも風が強かったら、雨が降ったら、寒すぎたら、と不安だらけでしたが、当日は実に穏やかな日和で風もなく、さすが主教様のご決断と皆様のお祈りが功を奏したことを確信しました。



主教様が「お祈りすれば献金が集まる」と言われたことも信じがたく、トマスさん状態になっていました

が、主教様のお言葉どおり、に多くの方々よりたくさんのご協力を頂きまして、感謝でいっぱいでございます。礼拝後、中村主教様、小南司祭様、八代司祭様、大東教区主事様方の温かくユーモアのあるお言葉を頂き、建築関係の方々に感謝状を贈呈し、最後に伊神司祭様のお言葉とお祈り、主教様の祝福にて会を閉じました。お越しく下さった皆様からは、共に喜びを分かち合っ

て頂き、見守りと励ましのお力と家族としての優しさを感じました。建物は息づいている木を用いて、家庭的なぬくもりを表現しています。このホールを用いて、み言葉、信仰について言葉のみで語るのではなく、私たちの行い、主の救いにあずかる喜びを見て、自ら進んで教会に行きたいと思われるような宣教を目指しております。皆様よりのお祈りとお力添えに感謝しつつ、今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

オーガスチン教会一同より
ご支援、ご愛読に感謝申し上げます

*教会のこれまで

当教会は、1890年(明治23年)頃から、徳島インマヌエル教会の佐古地区信徒が、伝道集会のために、家を借りて集会をしていたことに始まります。

主日の朝は、母教会に当たる徳島インマヌエル教会での礼拝に参加し、夕は、借家で有志が集会を持っていました。主に、禁酒運動がされていたようで、定



住教役者もなく、母教会から手助けを受けていたと、記念誌『徳島聖テモテ教会のあゆみ』に記されています。

現在地に移転したのは、1928年(昭和3年)12月のクリスマス(当時伝道師)が定住されておられました。このときに「佐古教会」と名称が変わりました。

1945年7月4日未明の徳島大空襲により、インマヌエル教会が消失しましたが、佐古教

会辛うじて難を免れました。1946年(昭和21年)よりインマヌエル教会と合同で礼拝を行い、インマヌエル教会再建後、今度は、佐古と合同で行われるようになります。

佐古教会が正式に現在の「徳島聖テモテ教会」となったのは、1956年(昭和31年)のことです。この前年10月に、インマヌエル教会と佐古教会とが神の導きにより分離され、56名が共にしています。

現在地の教会が再建されたのは、1990年(平成2年)4月30日。教区内外から多くの方々の参列のもと、モダンな教会の聖別式がおこなわれました。以来、今年(2015年)で、25年になりました。

*教会のいま

毎週の礼拝時間は変わりありませんが、礼拝後に、「第1・第3・第5週、「聖歌を学ぶ会」が行われ、奏楽者のノエル三木亜佐子姉が中心となって、現在用いられている聖歌集を一通り学ぶべく、最新の器具を駆使して今年で8年目を迎えました。婦人会、教会委員会も皆さんで、ワイワイと。また、毎週第1週には、子どもの教会と称して、主に小

中学生に、その日の福音書をもとに、み言葉を聞き、お祈りする時間を設けています。その他、不定期で、お楽しみ会が催されています。

*教会のこれから

ここ数年の間、当教会は定住者が不在でしたが、その間も常夜灯の設置、環境整備の他、看板の修繕、ホームページを開設しました。「教会ってどんなところ?」「こんなところよ!」と皆さんが胸を張って、それぞれの場所で証しできますように、神様のお導きとご支援をお祈りください。

(徳島聖テモテ教会牧師 司祭トマス河村博之)



英国のイースター

英国では大斎始日の前日(伝統的には「告解の火曜日」)にパンケーキを食べる「パンケーキ・デイ」を迎えることから始まります。「灰の水曜日」の断食及び大斎中の節制に備え、卵とバターをたっぷり使ったパンケーキを食べるのです。今日では英国でも宗教を持つ人々が減少していますが、キリスト教の暦に沿った行事を祝うという慣習はしっかりと保持され、多くの人々に親しまれています。ラジオでは今年の大斎節は何を我慢するかという話題が上つたりもします。「グッド・フライデー(聖金曜日)」と「イースター・マ



ンデー(復活後月曜日)」が祝日とされ、学校や会社、お店などは休みになります。教会暦の聖木曜日の夕刻からは日本同様、多くの大聖堂で主教による洗足式が執行され、特にカナタベリー大主教やヨーク大主教による洗足式の様子がメディアに取り上げられます。私が住んでいる克蘭レー村には聖公会の他にカトリック教会、バプテスト教会、メソジスト教会があり、超教派の集会として定着している聖金曜日の礼拝があります。聖金曜日の朝の礼拝後、村の中心近くにある聖公会の教会に人が集まり、大きな十字架を担いで村の中心の広場まで行進し、礼拝を捧げます。その集会后、正午から聖金曜日3時間礼拝が行なわれるのです。又、このときに「ホット・クロス・パンズ」と呼ばれる十字架のしるしのついたパンを食べます。そして、静かな雰囲気にも包まれた聖土曜日の後、イースターです。公園の芝生などに隠されたイースターエッグ(チョコ)を探す「エッグハント」が行なわれ、

多くの子供達が集まり賑わいます。イースターでは伝統的には羊のローストと蒸し野菜、シムネルケーキと呼ばれるフルーツケーキが食べられます。イースターおめでとうございます。イエス・キリストを復活させた神様の恵みが豊かに注がれますようにお祈りしております。

(立教英国学院チャプレン)

となりの日曜学校 ①

『神戸聖ミカエル教会』

サムエル 多井 剛

神戸聖ミカエル教会の日曜学校(以下ミカエルSS)では、

小学校と同等の3学期に分けて活動しています。主日は9時半から独自の式文による礼拝を行います。子どもたちに、教役者・ミカエルSS先生・ミカエル教会信徒の皆さんが交替で聖書のお話をします。主様のお話を賜り喜びする主日もあります。礼拝の後は分級です。日本の季節・教会暦の期節にちなんだもの作りや聖書のお勉強会、お誕生日会や外遊び(風揚げなど)をしています。

年間のイベントは、クリスマス会・道行き礼拝・イースター



エッグハンティング・春の遠足・夏のお楽しみ会・子ども祝福式、があります。不定期には、伝道区の他教会を訪問して喜んでいただいています。

特にクリスマス会は礼拝中に子どもたちで降誕劇をします。そのため10月頃から配役を決めて12月第一週のクリスマス会まで練習を重ねていきます。毎年10名から20名程度の子もたちが役者になり、ご家族の皆様も来られて大賑わいです。サンタさんとドルフも大きなプレゼント袋を持って毎年来てくれますよ!

ミカエルSS独特の催しとしてご紹介したいのは、十字架の道行き礼拝です。子どもたちとミカエルSS先生たちが、ちぎりに絵として製作したステーションを掲げて、十字架の道行き礼拝を行っています。大斎節にミカエル教会へお越しになられるようでしたら、どうぞご覧になってください。

ミカエルSSの現況は、小学生が減り(SS卒業後の先輩は青年の活動で活躍してくれています)、また小さな子どもたちが多くなりました。毎週、天使のような子どもたちが教会内ですやすや眠り、また元気に走り

回っています。一時は子どもたちが少なくなつて心配いたしましたが、主は私たちの想像を遙かに超えて、私たちに御業を見せてくださっています。

鳩だより 《敬称略》

ご逝去

12月8日(月)

マルタ 杉山 正子

徳山聖マリア教会

2月10日(火)

カタリナ 萩原 博子

神戸聖ミカエル教会

教籍移動

2月24日(火)

米澤 玲子

日本基督教団米子錦町教会より

米子聖ニコラス教会へ

公 示

日本聖公会 神戸教区 主教 アンデレ 中村 豊

下記の人事異動を発令します。

記

司祭 バルナバ 瀬山会治 2015年3月31日付 松江基督教会管理牧師の任を解く。

司祭 ミカエル 杉野達也 2015年4月1日付 松江基督教会牧師に任命する。米子聖ニコラス教会副牧師に任命する。

執事 セバスチャン 浪花朋久 2015年4月1日付 神戸聖ミカエル教会牧師補に任命する。

聖職候補生 パウロ 歳實 勲 2015年4月1日付 神戸教区付きを命じる。

神戸伝道区

◎神戸聖ペテロ教会

2月22日(日)、中道政昭司祭を講師に迎えて、大斎講話が行われた。中道司祭は詩編の中から51編と88編について詳しく語られ、詩編を通して大斎節の過ごし方について示唆を与えられた。

広島伝道区

◎徳山聖マリア教会

1月10日(土)、広島伝道区会と合わせて、徳山聖マリア教会「教会会館解体前の感謝の祈り」が、教区主教の司式の下、執り行われた。今後、徳山聖マリア教会は、隣接する徳山めぐみ幼稚園と「M&M未来プロジェクト」を立ち上げ、この地における新しい宣教・教育の協働の場を求めて、幼稚園は新園舎を2016年に、そして教会は2017年を目標に施設を新たにする予定。2月1日(日)の主日礼拝後、築85年の会館に向かつて「ほたるのひかり」を合唱し閉館した。

5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2015年5月7日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 柳本 博人

5月の記念逝去教役者

2日	司祭	覚前 政蔵
5日	宣教師	ヴァイオレット ヘ ッ ド
6日	司祭	吉本要太郎
10日	司祭	フランク ウェストン
14日	伝道師	マリヤ 松山 初子
16日	司祭	パウロ 韓 浩一
19日	主教	パウロ 八代 欽一郎
22日	司祭	ペテロ 長澤 四郎
24日	司祭	ヨハネ 村上 豊吉
24日	司祭	パウロ 大塚 磐吉
26日	司祭	末吉 萬吉
27日	司祭	バルナバ 阪村 達雄
28日	司祭	バルナバ 與賀田 千秋
29日	司祭	アーネスト ハッチンソン
30日	宣教師	メイブル バーグス